

(2) 平成29年度の対象集団の選定について

～ 山梨県地方協議会事務局 ～

①. 全国における平成28年度パイロット事業(実証実験)の実施集団選定状況

○荷種の内訳は、食料品11件、農産物7件、紙・パルプ4件、建設資材3件、機械製品3件、飲料2件、鮮魚2件、繊維製品2件、工業製品2、その他11件となっており、全国で様々な荷種を扱う。

	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
北海道	○	○	○	鮮魚
青森	○	○	○	農産物
岩手	○	○	—	木工製品
宮城	○	○	—	計器
秋田	○	○	—	パルプ・紙
山形	○	○	○	農産物
福島	○	○	○	農産物
茨城	○	○	—	コンクリート製品
栃木	○	○	—	食料品
群馬	○	○	—	農産物
埼玉	○	○	○	工業製品
千葉	○	○	—	食料品
東京	○	○	○	紙
神奈川	○	○	○	水道管
山梨	○	○	○	食料品
新潟	○	○	—	米菓
長野	○	○	—	食料品
富山	○	○	○	紙・パルプ
石川	○	○	—	建設資材
愛知	○	○	—	建設資材
静岡	○	○	○	フィルム・シート
	○	○	—	鮮魚
岐阜	○	○	○	食料品
三重	○	○	—	食料品

	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
福井	○	○	—	繊維製品
大阪	○	○	○	食料品
京都	○	○	○	鋼材
兵庫	○	○	—	機械製品
滋賀	○	○	○	日用品
奈良	○	○	○	機械製品
和歌山	○	○	○	建設資材
広島	○	○	○	機械部品
鳥取	○	○	○	乳製品
島根	○	○	○	フードサービス機器
岡山	○	○	—	飲料
山口	○	○	○	繊維製品
徳島	○	○	○	紙
香川	○	○	○	食料品
愛媛	○	○	○	農産物
高知	○	○	○	食料品
福岡	○	○	○	工業製品
佐賀	○	○	—	食料品
長崎	○	○	○	食料品
熊本	○	○	—	農産物
大分	○	○	—	卵
宮崎	○	○	○	農産物
鹿児島	○	○	—	鶏肉
沖縄	○	○	○	飲料・雑貨

②. パイロット事業ロードマップ

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
①中央・各都道府県において協議会の設置・検討 (厚生労働省・国土交通省、荷主、事業者等による協議会)	協議会の設置			
	協議会の開催、パイロット事業の計画・検証、対策の検討、ガイドラインの策定 等			
②長時間労働の実態調査、対策の検討	調査の実施・検証			
③パイロット事業(実証実験)の実施、対策の具体化			パイロット事業(実証実験)の実施 労働時間縮減のための助成事業	
④長時間労働改善ガイドラインの策定・普及				ガイドラインの策定・普及
⑤長時間労働改善の普及・定着				普及・定着の促進 助成事業の実施

定期的なフォローアップ・更なる対策の検討

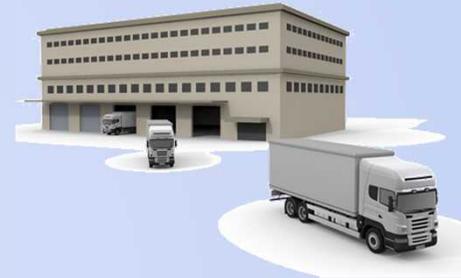
③. 平成29年度の対象集団選定に向けた働き

- ▶ 次年度はパイロット事業2年目であり、今年度以上に内容のある実証実験を実施することが求められる。(国土交通省自動車局貨物課のコメント)
- ▶ 今年度については、全国的に発荷主・運送事業者での対象集団選定が多く見受けられたため、次年度は極力、着荷主も対象集団に含めてほしい。(同課のコメント)

→ 山梨県においては、本年度は着荷主を含めた対象集団を選定

- ▶ 第3回協議会での資料「トラック輸送状況の実態調査(山梨県版)」では、ドライバーの拘束時間が長い輸送品類は以下のとおり。

- ✓ 金属機械工業品
- ✓ 農水産品
- ✓ 軽工業品
- ✓ 化学工業品



- ▶ しかしながら、第5回協議会での資料「対象集団決定までの変遷」のとおり、パイロット事業に協力いただく荷主の選定に苦慮するケースも考えられる。

- ✓ 選定後に手待ち時間等が「ほぼ無し」により再選定
- ✓ 着荷主の協力承諾までに数ヶ月が経過

- ▶ 本年度の反省をもとに、出来る限り幅広く荷主へ協力依頼を実施し、好事例を目指していく。